

「無税国家は可能でしょうか？MMTを活用して税金をゼロに近づけられますか？」

令和2年3月11日

●堀内康義さんからの質問

国家の理想形は無税国家だと思います。松下幸之助さんも提唱されてました。無税国家は可能でしょうか？MMTを活用して税金を可能な限りゼロに近づけられますか？

●西田昌司の答え

MMTは、自国通貨建ての国債であれば上限なく発行できると主張していますが、だからと言って税金が不要であるとは一言も述べていません。国家にとって税金は絶対に必要です。

もしも国家が徴税をしなければ、国民に対して一方的に通貨供給をするのみで全く回収されません。すると国民側はおカネがどんどんと貯まりますが、貯まり具合は様々です。一部の人が多額が貯まるでしょうし、逆に一部の人（税金を取らないので貯まりはするでしょうが）少額しか貯まらないでしょう。つまり、税金を取らないと、貧富の差が極大化していびつな社会となってしまうのです。今の日本は貧富の差が拡大して二極化していますが、それでも税金を取っているがためにある程度のところで抑えられています。

MMTが示したように、政府は財源を確保するために徴税を必要としますが、しかし、所得の再分配のために徴税は絶対に必要です。無税国家という響きは良いのですが、それは究極の格差社会でしかありません。

さらにもう一つ、超重要な視点があります。日本では「円」によって納税義務が果たされますが、ですから人々は「円」を価値あるものとして認識するのですし、税金がなければそもそも通貨の価値も生まれません。MMTは、税金があるからこそ通貨たり得るという事実についても我々に教えてくれました。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>